

学校図書館の目的

学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童の健全な教養を育成することを目的とする。

学校教育目標

よく考える子
思いやりのある子
けんこうな子
すすんで働く子

学校図書館の課題

- ・図書館の利活用。
- ・教科等での利活用の深まり。
- ・読書を通した学ぶ力の個人差。

学校図書館の目標

学校図書館の利活用を通して、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う。

ね ら い

- ① 児童の読書意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
- ② 学び方の指導を充実し、図書館利活用の望ましい態度や技術を高める。
- ③ 多様な資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図り、情報活用力を育成する。

指導の重点

- ① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の利活用を推進する。
- ② 探究ノートを活用して図書館活用能力の向上を図るとともに、教科指導に生かす。
- ③ 司書教諭と学校司書を中核とした学校図書館教育の推進を図る。

各学年の重点目標

第一学年	・読み物を楽しく読もうとする。 ・図書館の決まりを知り、親しんで利用できる。	第三学年	・様々な種類の本を読もうとする。 ・進んで図書館を利用して調べようとする。	第五学年	・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	・読み物を進んで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。	第四学年	・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に意欲的に取り組む。	第六学年	・適切な本を選んで読む習慣を定着させる。 ・学び方を身に付け、課題解決力を高める。

具体的な取り組み

〔各教科〕

- 図書館機能を活用し、課題解決学習、調べ学習、個別指導やグループ学習の場とする。
- 情報の収集、処理等、情報活用能力を養う。
- 読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

〔読書活動〕

- 登校後や隙間時間の読書など、読書の推進と習慣化。
- 「読書ゆうびん」「ブックメニュー給食」等による意欲の向上。

〔総合的な学習の時間〕

- 学び方や考え方を身に付ける。
- 課題の解決、探究に主体的に取り組む。
- 系統的に情報活用力を育成する。

〔特別活動〕

- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。
- 特別活動の中で積極的に図書館を利活用する。

〔道徳〕

- 図書資料を通して様々な生き方や考え方に接する中で自分を深め、道徳的心情を培う。

〔家庭・地域との連携〕

- 読書旬間(年3回)による読み聞かせの実施。
- ボランティアや市民図書館との連携。

朝読書の推進

推進組織の確立・充実

図書館経営評価の実

図書環境の整備・充実